

令和7年度 [1]年[国語]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	・思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにしようとする姿勢を養う。 ・自らの思いや考えをわかりやすく適切な文章で表現しようとする姿勢を養う。 ・国語に対する知識や技能を身につける中で、国語に慣れ親しむ。		
観点別目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・社会生活する上で必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 ・日本の言語文化に親しみ、理解することができるようにする。	・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を身につけるようにする。 ・日常生活での人との関わり合いにおいて、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものとしてすることができるようにする。	・言葉のもつ価値に気づき、進んで国語の学習に取り組み、その中で自己の学習課題を見つけ、その解決に向けて粘り強く学習に向かう態度を養う。 ・日本の言語文化を大切にその能力の向上を図ろうとする態度を養う。

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	4月	朝のリレー【詩】 始まりの風【物語】	・構成や表現に着目し情景を想像して音読し、感じたことや想像したことを共有する。 ・場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化をとらえる
	5月	音声の仕組みや働き 話の工夫をしよう 漢字の組み立てと部首 ダイコンは大きな根？ 【説明文】	・音声の仕組みを理解し、言葉の特徴を理解する ・わかりやすい文章の構成を理解する。 ・漢字の部首の意味を理解することができる。 ・比較でどんな場面で使われているか確かめる。 ・段落の役割に着目して文章の内容をとらえよう。
	6月	ちょっと立ち止まって【説明文】 情報を整理して説明しよう 【書く】 指示する語句と 接続する語句	・筆者の主張と事例との関係を整理する。 ・文章の構成に着目し要旨をとらえる ・集めた情報を比較したり関係づけたりして整理する。 ・情報を取捨選択しわかりやすく説明するためにまとめ方や順序を工夫する。 ・文中の語句や内容、文全体を指し示すことによって、前後の文をつなぐ働きをすることを理解する
	7月	空の詩 三編 様々な表現技法 比喩で広がる言葉の世界 【説明文】 言葉のまとまりを考えよう	・詩の言葉の読み味わい、語感を磨く。 ・詩の情景を想像し、表現の効果について考える。 ・言葉をほかのものに例えたり、言葉を強調したりする ・比喩について理解し、生活への生かし方を考える。 ・文章の中心となる部分を見つけ、要旨をとらえる。 ・言葉の単位を理解し、言葉を正確に伝えるために文の決まりを整理することができる。

二 学 期	9月	情報収集の達人になろう 読書を楽しむ 大人になれなかった弟たちに …【物語文】	・情報を収集し整理、伝えることができる。 ・本を読みそれをもとに何かの作品を作ることにより読書に関する意欲を深める。 ・本や資料を読み登場人物が置かれた状況を知る。 ・登場人物の行動や風景の描写を基に心情をとらえる。
	10月	星の花が降るころに 【物語文】 項目を立てて書こう 方言と共通語	・場面や描写の結びつきを図などで用いて整理する。 ・場面と場面、場面と描写を結び付けて、作品を解釈する。 ・分類などの情報の整理のしかたを理解し、活用する。 ・相手が必要とする情報を明確に伝えるために情報を整理し、構成を考えて書く。 ・地域により言葉の違いを知り、自分たちの言葉について考える。
	11月	聞き上手になろう 漢字の音訓 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 言葉の関係を考えよう 大阿蘇	・声の大きさや間の取り方などを意識して質問する。 ・聞いたことを基に考え方をまとめ、質問の仕方を工夫する。 ・漢字の音訓について理解することができる。 ・筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。 ・文章の構成や展開の効果について根拠を明確にして考える。 ・文節同士の関係を知り、相手に誤解を与えないように文を組み立てる。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら聴くことができる。
	12月	いろは歌 蓬萊の玉の枝「竹取物語」 【古典】 矛盾【漢文】	・古典の響きや調子に触れよう。 ・仮名遣いに注意しながら音読して音読して古典のリズムを味わい、その世界に親しむ。 ・作品の内容を読み取り、古典の世界を想像する。 ・漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しむ。
三 学 期	1月	「不便」の価値を見つめ直す 【説明文】 話題や展開をとらえて話し合おう【話す聞く】	・必要な情報を選び、結び付けて要約する。 ・目的に応じて文章を要約し、筆者の主張に対して自分の意見を持つ ・意見と根拠を明確にして話し合う。 ・話題や展開をとらえながら話し合い、お互いの発言を結び付けて考えをまとめる。
	2月	少年の日の思い出 【物語文】	・語句の意味に注目し、その後久我選ばれた理由を考える。 ・場面の展開や表現の効果に着目し、登場人物のものの見方について考える。
	3月	二十歳になった日 【随筆】 漢字の成り立ち 1年間の学びを振り返ろう	・心情を表す語句や表現に注目して読み。語感を磨く。 ・随筆の構成や表現の効果について考える。 ・漢字がどのような構成になって作られているのか理解する。 ・情報整理の知識や方法を活用する。 ・伝えることを明確にして資料を作る。 ・相手の反応を踏まえながら話す。

評価の方法	・「知識・技能」、「思考・判断・表現」については、定期テスト(中間テスト・期末テストなど)や漢字テストなどによって、その到達度を測る。 ・「主体的に学習に取り組む態度」については、学習態度(グループ活動・ふりかえりシート・提出物・学習準備など)及び「知識・技能」、「思考・判断・表現」の到達度を踏まえ評価する。
-------	---

令和7年度 [2]年[国語]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	・思考力や想像力を養い、豊かな言語感覚を身につける。 ・自らの思いや考えをわかりやすく適切な文章で表現する力を身につける。 ・国語に対する認識を身につける。		
観点別目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	4月	見えないだけ【詩】	・詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 ・詩にこめられたものの見方を捉える。
		アイスプラネット【小説】	・登場人物の設定に関する情報を、図を用いて整理する ・登場人物の設定に着目し、人物像や、人物同士の関係を読み取る
		言葉2 敬語【文法】	・敬語の意味と種類を学び、使えるようになる。 ・職場体験の場で、敬語を正しく使用できることを目標とする。
	5月	魅力的な提案をしよう【話す・聞く】	・言葉には、相手の心を動かし、行動を促す働きがあることを知る。 ・話の構成を工夫し、資料や機器を使って、自分の考えをわかりやすく話す。
		枕草子【古典】	・作者のものの見方や感じ方に触れる ・自分が感じる四季の趣と比べて、読み味わう
		クマゼミ増加の原因を探る【報告】	・情報と情報との関係を図示するなどして整理する。 ・文章全体と部分との関係や、文章と図表との関係に注意して読む。
	6月	漢字1 熟語の構成【知識】	・熟語の構成を学び、漢字に対する理解を深める
		言葉1 類義語・対義語・多義語【知識】	・言葉同士の関係性を考え、グループ分けをする
	7月	短歌に親しむ【短歌】	・短歌の情景や心情を描写する語句に着目し、語感を磨く。
		短歌を味わう【短歌】	・短歌に用いられた、表現の効果について考える
		短歌の創作教室【書く】	・情景や感動が伝わるように、表現を工夫して書く。
二学期	9月	言葉の力【随筆】	・本や文章に書かれた、様々な考え方に触れる。 ・文章を読み、知識や経験と結びつけて考えを深める。
		文法1 用言の活用	・用言の活用について理解する。
		ヒューマノイド【小説】	・文章の構成や場面の展開についての理解を深める ・過去と現在、伏線と結末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える
		書写・硬筆	・字形と形を意識して書く。
		字のない葉書【随筆】	・随筆の味わい方を知り、日常の読書に生かす。 ・文章の構成や、人物や出来事を語るときの表現から、筆者の思いを考える。
		表現を工夫して書こう【書く】	・敬語の働きを理解し、適切に使う。 ・自分の思いや用件が的確に伝わるように、表現を工夫して書く。 ・職場体験学習のお礼状作成を通じて、学んだことを実践する

	10 月	モアイは語る―地球の未来【論説】	・意見を裏づけるための、適切な根拠のあり方について理解する。 ・知識や経験を基に、文章の構成や論理の展開、筆者の主張を吟味する
	11 月	平家物語【古典】 扇の的―「平家物語」から【古典】 仁和寺にある法師―「徒然草」から【古典】	・作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ ・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉える ・現代語訳や注を手がかりに読み、古典に表れたものの見方や考え方を知る ・読み取った内容を自分の経験と結び付け、作者のものの見方について考える
	12 月	漢詩の風景【漢文】	・古典のものの見方や考え方を知り、漢詩の特徴を生かして朗読する ・漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、構成や表現の効果を考える
		デジタル市民として生きる【情報】	・意見と根拠などの関係に注意して、情報を集め結びつける ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。
		文法2 付属語【文法】 書写・毛筆【書く】	・助詞・助動詞のはたらきについて理解する。 ・筆遣いと字形、字の流れを意識して書く。
三学期	1 月	君は「最後の晚餐」を知っているか【評論】	・表などを用いて、情報を整理する ・観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考える
		話し合いの流れを整理しよう【話す・聞く】 立場を尊重して話し合おう【話す・聞く】	・司会として話の流れを整理し、結論を導き出す力をつける ・意見の内容や意見同士の関係に気を付けて整理することができる ・それぞれの立場から意見を述べ、互いの意見を尊重しあいながら討論することで自分の視野を広げる
	2 月	走れメロス【小説】	・作品の魅力を語るうえで鍵となる語句を見つけ、その意味や語感を確かめる ・人物像や表現の効果など、自分の選んだ観点で作品の魅力を捉える
	3 月	描写を工夫して書こう【書く】 言葉3 話し言葉と書き言葉【文法】	・これまでの学びを参考にしながら、場面の様子や人物の心情が生き生きと伝わるように描写を工夫して書く ・場面に応じて伝わりやすい言葉を使い分けることができる

評価の方法	・「知識・技能」、「思考・判断・表現」については、定期テスト(中間テスト・期末テストなど)や漢字テストなどによって、その到達度を測る。 ・「主体的に学習に取り組む態度」については、学習態度(グループ活動・ふりかえりシート・提出物・学習準備など)及び「知識・技能」、「思考・判断・表現」の到達度を踏まえ評価する。
-------	--

令和7年度 [3]年[国語]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	・思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにするとともに、生活の中でこれらの能力を活用できるようにする。 ・自らの思いや考えをわかりやすく適切な文章で表現する能力を身につける。 ・国語に対する認識を深める。		
観点別目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	授業開き～2年生の学びの復習～	・第3学年の新たな学びに向けて、第2学年の学習内容を確認・整理する。
	5月	世界はうつくいと【詩】	・描かれた情景を想像しながら読み、詩に込められた作者の思いを捉え、自分の意見をもつ。
		握手【物語】	・小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価し、過去を回想する語り手の思いを捉え、それに基づいて自分の考えをもつ。
		意見を聞き、適切さを判断する【聞く】	・話し手の意見と根拠を聞き取る。多様な考えをもつ聞き手を想定しているか判断する。情報の適切さや信頼性を評価する。
	6月	文法への扉1 言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	・相手や場に応じた表現を使い分ける。
		学びて時に之を習ふ-「論語」から【漢文】	・漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方についてまとめる。
		作られた「物語」を超えて【論説】	・論理の展開における、具体と抽象の関係を捉える。論説の特性を踏まえて読み、論理の展開の仕方を捉える。
	7月	言葉2 和語・漢語・外来語	・言葉を使い分ける。
		俳句の可能性・俳句を味わう【俳句】	・語句の表現意図による語句の使い分けに着目し、語感を磨く。俳句の作者の表現意図を考え、表現の仕方を評価する。
		言葉の釣り糸を垂らす【随筆】	・感覚や概念を表す語句・表現の幅を広げる。文章に表れた筆者のものの見方や考え方について考える。
		報道文を比較して読もう【情報】	・同じ題材でも取り上げる箇所や書く人によって違いが表れることを捉え、その理由を考える。
		「私の一冊」を探しに行こう【読書】	・本の探し方を知り、実践する。

二 学 期	9月	挨拶ー原爆の写真によせて【詩】	・語句の辞書的な意味や語感を踏まえて、文脈上の意味や効果を考える。詩の表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深める。
		故郷【小説】	・人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解する。作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。
	10月	言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語	・慣用句・ことわざ・故事成語について理解する。
		複数の意見を読んで、考えよう【論説】 文法の扉2	・社会との関わりを支える、読書の効用を理解する。文章を批判的に読み、論理の展開や表現のしかたを評価する。
	11月	初恋【詩】	・詩の形式や、表現の特徴とその効果を理解し、初恋の心情を味わう。
		和歌の世界【古文】 君待つと一万葉古今新古今【古文】	・和歌の世界に親しむ。 ・各歌集の歴史的背景や和歌が詠まれた状況に注意し、和歌の世界に親しむ。和歌に詠まれた情景や心情を読み取り、表現のしかたを評価する。
三 学 期	12月	夏草―「おくのほそ道」から【古文】 それでも、言葉を【評論】	・作品の歴史的背景に注意して読み、古典の世界に親しむ。文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考える。 ・具体的な事例を挙げるなどして、抽象的な概念への理解を深める。筆者の見方・考え方を踏まえ、言葉について自分の意見をもつ。
		書写・毛筆【書く】	
	1月	温かいスープ【随筆】 アラスカとの出会い【随筆】	・国際社会における人と人との関係について、考えを深めよう。 ・人との出会いや人生について、考えを深めよう。
	2月	律儀な桜【随筆】 わたしを束ねないで【詩】	・人と自然、時とともに変わるもの、変わらないものに思いをはせよう。 ・言葉や表現から作品のもつメッセージを捉え、自分の可能性について考えてみよう。
	3月	三年間の歩みを振り返ろう	・中学校生活を振り返る。

評価の方法	・「知識・技能」、「思考・判断・表現」については、定期テスト(中間テスト・期末テストなど)や漢字テストなどによって、その到達度を測る。 ・「主体的に学習に取り組む態度」については、学習態度(グループ活動・ふりかえりシート・提出物・学習準備など)及び「知識・技能」、「思考・判断・表現」の到達度を踏まえ評価する。
-------	---

学習のしかた

《 授業中 》

- ◆授業の初めにめあてを確認し、最後にめあての達成ができたかふりかえりをする。
- ◆ペアやグループ学習で、周りの意見を聞き、自分の考えを広げていく。
- ◆適切な速度や音量で、言葉の調子や間の取り方を工夫しながら本文を音読する。
- ◆人の意見を聞き内容を深める。
- ◆わからない語句、読めない漢字にマークをし、辞書を活用して調べる。
- ◆論理(筋道)立てて自分の意見を述べる。
- ◆自分の意見や感想を積極的に書き、発表する。

《 家庭学習 》

- ◆復習で定期テスト前に使えるようなノートづくりをしていく。
 - ◆学校のノートとは別に、自主学習ノートを作り、活用すると効果が上がる。
- ＊下記の学習内容を授業や自分の弱点に合わせ、家庭学習に取り組みましょう。

漢字

- ①読めるようにする。(音読み・訓読みを同時に覚えておく)
- ②何度も書いて覚える。(熟語での使い方勉強すると効果的)
- ③自分で確認テストを行う。
- ④間違った漢字、分からなかった漢字をチェックしておく。
- ⑤しばらくたってから、またはテスト前などに練習する。
- ⑥テスト直前に、間違った漢字や分からなかった漢字をチェックする。

説明文や物語文

- ①本文をすらすら読めるまで何度も読む。
- ②学校での意味調べや類義語、対義語を確認し、わからない言葉は自分で意味を調べる。
- ③授業のノートの大事な言葉、語句をカッコ抜きにして、問題を作ってやってみる。
- ④問題集やプリントをやってみる。

詩, 短歌, 俳句など

- ①本文をすらすら読めるまで何度も読む。(暗唱できるくらい)
- ②授業で学習した語句の意味や、表現技法を確認し、ノートにまとめる。
- ③主題や情景や表現について考え、鑑賞文を書いてみる。

古典, 漢文

- ①本文をすらすら読めるまで何度も読む。(暗唱できるくらい)
- ②ノートに本文を写し、歴史的仮名遣いや古語を確認する。
- ③全文を訳したり、現代語訳と比較したりして、わからなかった部分をノートに書き出す。
- ④作品名、作者名、成立時代を覚える。

文法

- ①文節分け、文の成分、単語分け、品詞分けなどを文法の問題集で行う。
- ②文の成分の名前、品詞名、品詞ごとの種類分け、活用の種類などを確認し、わからないところ、不安なところを何度も確認する。

◎読書の時間をもちましょう！毎日、家庭での読書の時間をもつことが、確実に国語力を上げることに繋がります。

《 テスト勉強 》

- ◆授業をしっかり聞き、考え、まとめておけばそれがテスト対策になります。
- ◆家庭学習で予習・復習することで授業の理解度も高まっていきます。ノートやワーク、ドリルパークを活用しましょう。
- ◆国語の場合はこれをやればすぐに力がつくというものはありません。地道な毎日の積み重ねが大切です。
とにかく難しい文章を読むことに慣れること、分からないことばの意味や漢字をすぐに調べることで力がついていきます。
- ◆書く力は「書く」ことで身につきます。次の方法で「書く」ことに慣れましょう。
 - ①新聞のコラムや本、詩集などを読み、それについての感想文や鑑賞文をノートや原稿用紙にまとめてみる。
 - ②自分の文章を読み返し、表現や漢字の使い方について必ず確認する。
 - ③毎日のあゆみやステップアップなどの通信欄を活用し、日々の出来事やそれについての自分の思いをまとめる。